

RIDGID

パイプ&ドレン・クリーナー
排水管清掃機

K-50取扱説明書

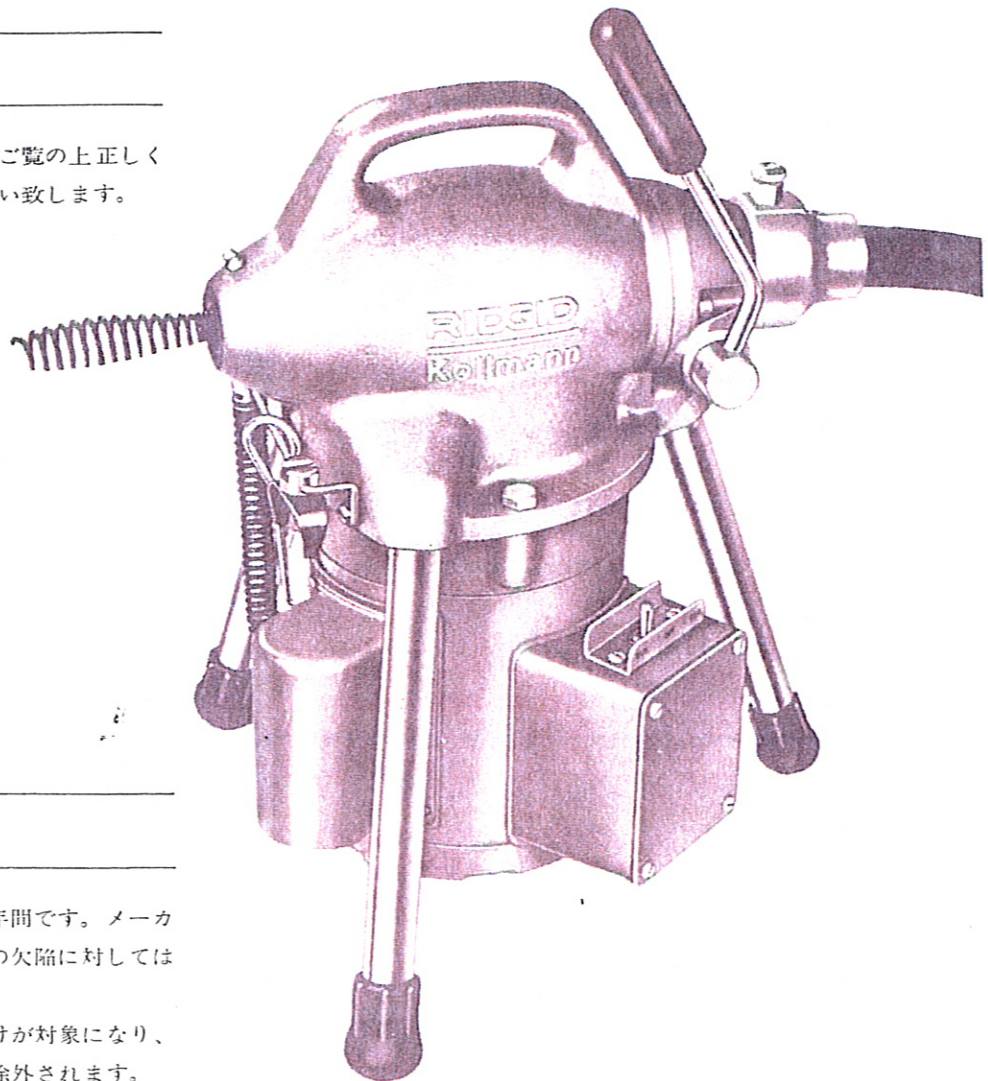
ご注意

ご使用前に、必ずこの説明書をご覧の上正しくご使用くださいますよう、お願い致します。

保証

本機の保証期間は納入後1年間です。メーカーの責による製造上、材質上の欠陥に対しては保証が受けられます。

尚、この保証は、機械本体だけが対象になり、ツール、ケーブル、ロッドは除外されます。



日本エマソン株式会社
リッジ事業部

999-998-329.10
11/2009

● 特長

RIDGID/ K-50 排水管清掃機は20mm～76mm迄のパイプを清掃し、小型、軽量で最も広範囲に使用されている普及版です。

- ・ 3種のケーブルが使用でき用途が広い。
- ・ 正逆回転のモーター使用。
- ・ 独特のクラッチ機構で安全、確実な操作。
- ・ 便利な特許スピード・カップラー。
- ・ 作業距離に応じて簡単に長さを調整できる。
- ・ ケーブル分離方式。

● 仕様

〔能力〕

- ・ 清掃できる管の径…20mm～76mm
- ・ 清掃できる距離… $\frac{5}{8}$ "のケーブルで30m迄。

〔使用ケーブル〕

- ・ 標準ケーブル C-8… $\frac{5}{8}$ "のケーブル。
- ・ 強力型ケーブルC-7… $\frac{5}{8}$ "のケーブル。
- ・ 細いパイプ用に $\frac{5}{16}$ "、 $\frac{3}{8}$ "のケーブルが使用できます。

〔モーター〕

- ・ 单相100V、50～60Hz、 $\frac{1}{2}$ hp
- ・ 回転数…400r.p.m.

〔重量〕

- ・ 機械本体…16kg
- ・ K-50-8セット…37kg

〔本体寸法〕

- ・ 長さ30.5×巾33×高さ44.5cm

● 維持

1. 毎日ご使用の場合、週に一度は機械にグリースを注油して下さい。時々ご使用される場合は月に一度で結構です。
2. 本体の前部を下にして後部のラックピニオン・アッセンブリーを取りはずし、使用後クラッチ・ジョーを清掃し給油して下さい。
3. $\frac{5}{16}$ "、 $\frac{3}{8}$ "のケーブルを取納するケーブル・コンテナの3つのネジを取りはずして、各々使用後、内部を清掃して下さい。

● 組合わせ

使用ケーブルの種類により、いろいろなセットを販売しておりますので、好みのセットを御指定下さい。

● 標準附属品

(K-50-8…フルセット)

A-30… $\frac{5}{8}$ "ケーブルキット、重量9kg

C-8ケーブル1本2.25m×6本

T-201…ストレート・オーガー

T-203…バルブ・オーガー

T-205…グリース"C"カッター

A-10…ケーブル・キャリア

A-13…カップリング用ピン・キー

A-14-16…ガイド・ホース

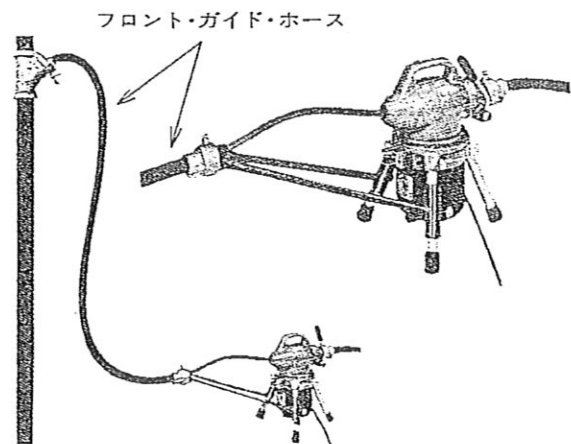
A-17-A… $\frac{5}{8}$ "ケーブル 7.5mドラム付

A-17-B… $\frac{3}{8}$ "ケーブル10.5mドラム付

その他上記以外の便利なアタッチメントが豊富にありますので総合カタログを御参照下さい。

● 作業困難な場所にて

下図のようなガイドホースA-18を使用されるとケーブルがもつれたり、ねじれたりするのを防ぎ作業しやすい。



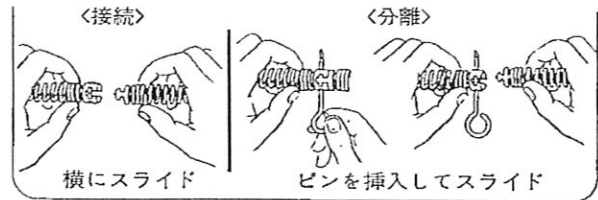
● 使用上の注意

本機はハンドルから手を離すと即座に止まる安全設計ですので危険はありませんが、尚以下の点に注意して下さい。

1. まず第一に、この取り扱い説明書をよく読み、正しい操作を身につけて下さい。
2. 突然ケーブルが回転し始めると危険ですからプラグを電源に差し込む前に本体スイッチを必ずOFFにすること。
3. 本体スイッチをONにしてモーターが完全に回り出す前にハンドルを操作するとモーターのスターターに過重がかかりますので必ずモーターが回りだしてハンドルを操作して下さい。
4. モーター・スイッチを正転(FOR)から逆転(REV)、又は逆転から正転に切り換える時は必ず一度モーターを完全に止めてから作動させて下さい。
5. アースを取って下さい。
6. 電源コードを持って本体を持ち上げたり強くひっぱったりしないで下さい。
7. ケーブルは通常右回転(FOR)でのみ使用しますが障害物に当たって回転しなくなった時に左回転(REV)を使用します。左回転の時長く使用すると、ケーブルが傷みますので必ず瞬時にとめて下さい。
8. ケーブルがパイプ内を思うように進まない場合は管の曲部が詰りのいずれかです。前者の場合はケーブルを回転させながら押しこむと容易にはいっていきます。後者の場合はケーブルを一度引き出して先端に附着している障害物を取り除きます。排水管内に強固の障害物が詰っている場合は、いっきよに貫通させようとするとケーブルを早く傷めることがありますので無理をせず、ケーブルを押しこんだり、引いたり、少し逆回転させるなど繰り返し作業すればほとんどケーブルを傷める事なく貫通できます。
9. ケーブルの径により清掃できるパイプの径は決まっています。正しいサイズのケーブルを選んで下さい。
 $\frac{5}{8}$ "ケーブル... $\frac{3}{4}$ "~1"迄の径のパイプが主
 $\frac{3}{8}$ "ケーブル...1"~2"迄の径のパイプが主
 $\frac{5}{8}$ "ケーブル...2"~3"迄の径のパイプが主
10. ケーブルは使用後よく布などで汚れを掃きとって屋外に雨ざらしにならないよう御注意下さい。
11. 危険防止の為、又は床を傷めないようガイドホースを必ず本体の後ろに取り付けて下さい。

● 取り扱い方法

1. ケーブルの接続と分離は下記を参考にしてなれて下さい。



2. $\frac{5}{8}$ "ケーブルを使用する場合(2~10)
 本体を清掃するパイプの入口から30~60cm離れた所に設置して下さい。そして本体の後部にガイドホースを取り付けます。その時ガイドホースの止め金を完全に本体後部の受け口に入れて下さい。電源を入れる前にスイッチはOFFの位置にあるか必ず確認する事。
3. 最初のケーブルを本体の前部から挿入し、ケーブルが本体前部より30cm位出た所まで押しこみ、先端にツールをつけて下さい。又、ケーブルは順次1本ずつ接続して使用し、一度に長く縫いで作業はしないでください。
4. まず初めに先端のツールはエルボー管に便利なバルブ・オーガーを使用します。ツールはケーブルに完全に接続されているか確認して下さい。
5. 先端にツールをつけたケーブルを手でパイプの中に送りこみ、順次ケーブルを本体前部でつないでいきます。
6. モーターの回転は通常右回転(FOR)で使用して下さい。ケーブルはモーターを回転させただけでは回転しません。クラッチハンドルをしっかりと下に押し下げるとクラッチジョーがケーブルをはさみ回転します。ゆっくり中途半端にクラッチハンドルを押すとケーブルのグリップが甘くなりクラッチジョーが傷む原因となります。クラッチハンドルを離すとケーブルの回転はすぐに止まりますのでオーバーランがなくケーブルを傷めません。これはコールマン独特の安全設計です。
7. 20cm位ずつケーブルを送りこんではクラッチハンドルを押し下げてケーブルを回転させます。この時ケーブルにたるみができますので、それを延ばすように上部から押えつかけますと自然にケーブルがパイプ内に入ってきますので手で強弱の加減が出来安全です。又絶対一度に2本以上のケーブルを接続しないで下さい。
8. 障害物に到達した時に初めて、先端のツールが作動し始めます。困難な詰まりの場合一度に開通しようとせず、徐々に開通させるよう、作業するのがコツです。又、パイプ内に水を流しながら清掃すると非常に作業能率を高める事ができます。その場に応じたツールを

使用する事も大切ですので総合カタログをご参照の上
ご活用下さい。

9. 左回転 (REV) の使用上の注意は前頁の4.と8.の項
をごらん下さい。右回転中に何か障害物に当たって回転
しなくなった時にだけ左回転を使います。左回転させ
ケーブルの先端にショックを与え障害物から抜き取り
ます。ケーブルは右回転の時、最大のテンションに耐
える様に設計していますので左回転では決して長く使
わないで下さい。
10. ケーブルの取り出し
スイッチは右回転のままにしておきケーブルを引き上
げていきますが、ケーブルが抜けてこない場合はクラ
ッチハンドルを押し数秒間ケーブルを回しながらショ
ックを与え強く引っぱって下さい。この操作をくり返
すと、ケーブルは容易に取り出す事ができます。又、
ケーブル自身が左巻き構造の為ケーブルのピッチを丈
夫なエッジにあてて正転させてもケーブルを取り出す
事ができます。
11. $\frac{5}{8}$ 、 $\frac{3}{8}$ ケーブルを使用する場合 (11-14) ケーブル・
アダプターからケーブルを30cm位取り出し、本体に取り
付けます。その時クラッチ・ハンドルを下に押しなが
らケーブル・アダプターを押しこむと止め金によって完
全にロックされ固定されます。止め金の横にあるネジ
も締めつけて下さい。
12. 後は $\frac{5}{8}$ ケーブルを使用する場合とほとんど同じで、異
なる点はケーブルの長さだけです。しかし $\frac{5}{8}$ 、 $\frac{3}{8}$ ケ
ーブルの長さは使用パイプ上十分であるからあまり長
いケーブルを必要としません。
13. クラッチ・ハンドルのもう一つの目的
クラッチ・ハンドルをしっかり下に押す事によりケーブ
ルアダプターを回転させ、離すとクラッチハンドルは
元に戻り即座にケーブルが止まるので、オーバーラン
やねじれを防ぎます。内蔵ブレーキによりケーブルの
寿命が延びる。
14. $\frac{5}{8}$ と $\frac{3}{8}$ ケーブルは台所等の流し、風呂場、トイレ等
に最適である。

●ケーブルアダプターのブレーキ調整

常時使用後ケーブルアダプターのブレーキ調整が必要にな
ります。下図参照。左右にあるAネジをゆるめ、Bねじを
締めるとブレーキ調整できます。あとAネジを締めて固定
すればもう一度Bネジを確かめて下さい。

